

はじめに

新座市は、首都近郊に位置しながら、柳瀬川や黒目川などの河川、これらの河川に沿って広がる斜面林、まとまった農地や屋敷林など、武蔵野の面影を感じさせる豊かな自然環境を有しております。また、市の中心部に位置する平林寺境内林や野火止用水などの貴重な歴史・文化遺産と一体となったみどりが多く点在し、多様な動植物の生息・生育地となる環境を形成しております。

これらの豊かな自然環境の保全と緑化の推進を目的に、平成18年（2006年）3月に「新座市緑の基本計画」を策定し、様々な取組を行ってまいりました。

一方、気候変動や自然災害、SDGsの達成に向け、ゼロカーボンを始めとした様々な取組の推進など、私たちを取り巻く社会状況の変化とともに、身近にあるみどりに対する市民のニーズも刻々と変化しております。また、新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活様式が大きく変化する中で、日々の生活に潤いや安らぎを感じられるものとして、みどりの重要性が改めて注目されています。

このような社会状況やみどりを取り巻く状況の変化に対応し、これからの本市のみどりに対する考え方や方針を示すため、「新座市緑の基本計画」の改定を行いました。

新たに策定した「新座しみどりの基本計画」では、「住環境と自然環境の調和したまち新座」をみどりの将来像として掲げ、市民、事業者などの多様な主体と共創し、みどりのまちづくりを推進してまいりますので、一層の御理解とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、御尽力いただきました新座市緑化推進協議会委員、市議会議員の皆様を始め、貴重な御意見、御協力を頂きました市民や市民団体の皆様に心から御礼申し上げまして、御挨拶といたします。

令和5年（2023年）3月

新座市長 並木 傑

